

自己評価報告書(最終報告)

報告者

言語系コース(国語)
／余郷 裕次

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

○ 絵本とその読み聞かせの教育的効果について、実践的・実証的研究を科研申請したい。徳島県内の公立中学校をフィールドとして、教員の協力のもと長期間継続的な絵本の読み聞かせを行い、質的分析を試みるとともに、全国学力テストのデータを解析することによって、絵本とその読み聞かせの教育的効果を実証したいと計画している。

2. 点検・評価

○ 絵本とその読み聞かせの教育的効果について、研究分担者として本学頃安利秀教授らと「教員を目指す学生の「声」を育てる授業の開発」という課題で科研申請を行った。
○ 研究分担者として、本学幾田伸司准教授らと「言語活動企画力の習得を図る国語科教師教育カリキュラムの構築」という課題で科研申請を行った。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

○ 年間50～60回程度担当している講演会・研修会・講座等において、大学院の宣伝活動を続ける。本年度放送大学の受講生が1名教科・領域教育専攻言語系コース(国語)に入学するなど、宣伝活動は効果をあげている。
○ 鹿児島国際大学児童学科、千々岩弘一教授を通じて、これまでに教科・領域教育専攻言語系コース(国語)に4名、高度学校教育実践専攻教員養成特別コースに3名の学生を受け入れている。
本年度も、高度学校教育実践専攻教員養成特別コースに1名が入学する。昨年度の説明会において、鳴門教育大学大学院への進学に関心がある多数の学部生と面接を行った。本年度も、鹿児島国際大学において、大学院説明会を実施し、院生確保に結びつけたい。

2. 点検・評価

○ 年間50～60回程度担当している講演会・研修会・講座等において、大学院の宣伝活動を続けている。本年度は、県内外において、61回の講演会・研修会・講座等を担当し、大学・大学院の説明や宣伝に努めた。
○ 鹿児島国際大学児童学科、千々岩弘一教授を通じて、これまでに教科・領域教育専攻言語系コース(国語)に4名、高度学校教育実践専攻教員養成特別コースに3名の学生を受け入れている。
本年度も、高度学校教育実践専攻教員養成特別コースに1名が入学した。10月19日(金)に鹿児島国際大学において説明会を実施した。その結果、来年度も本学大学院受験希望者が1名いるとの連絡を受けている。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- 教員採用実技ガイダンスを担当する。
- 学部学生、大学院生に対して、日頃から教員就職を促し、教員採用に関するあらゆる相談に積極的に応じる。
- 個人的に依頼された面接指導、模擬授業の指導等に積極的に応じる。
- 希望者に対して、個別に小論文の添削指導を行う。

2. 点検・評価

- 教員採用実技ガイダンスを担当した(6月16日)。
- 学部学生、大学院生に対して、日頃から教員就職を促し、教員採用に関するあらゆる相談に積極的に応じている。
- 個人的に依頼された面接指導、模擬授業の指導等に積極的に応じた。
- 希望者に対して、個別に小論文の添削指導を行った。
以上の結果、ゼミ所属の大学院生1名が和歌山県高等学校教諭(国語科)に正規採用された。長期履修生1名が奈良県小学校教諭に正規採用された。
また、ゼミ所属の学部学生2名が、岡山県小学校教諭と神戸市小学校教諭にそれぞれ正規採用された。

II-2. 研究

1. 目標・計画

- 10年以上取り組んでいる「絵本とその読み聞かせ」の教育的効果に関する研究を継続し、その成果を全国大学国語教育学会等で研究発表する。
- 「絵本とその読み聞かせ」に関する絵本モニタージュ論の研究論文を執筆し、学術研究誌に発表する。
- 「絵本とその読み聞かせ」に関する単行本『絵本のひみつ—絵本の知と読み聞かせの心—』が総論的内容であったのに続き、各論編となる単行本の執筆を続ける。

2. 点検・評価

- 10年以上取り組んでいる「絵本とその読み聞かせ」の教育的効果に関する研究を継続し、その成果を全国大学国語教育学会で研究発表した(5月27日・筑波大学)。
- 「絵本とその読み聞かせ」に関する絵本モニタージュ論の研究論文を執筆し、「初等教育資料7月号」等に発表した。
- 「絵本とその読み聞かせ」に関する単行本『絵本のひみつ—絵本の知と読み聞かせの心—』が総論的内容であったのに続き、各論編となる単行本の執筆を続けた。単行本の90%の執筆を完了した。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- 児童図書室室長として、児童図書室の充実・発展のために努力し、児童図書室が開催するワークショップを担当するなど、大学の地域貢献に協力する。
- 本学が参画する一般社団法人「教育支援人材認証協会」の認定評価委員として事業の遂行に努力し、認証講座「こどもサポーター(読み聞かせ)」を担当する。

2. 点検・評価

- 児童図書室室長として、児童図書室の充実・発展のために努力し、児童図書室が開催するワークショップ(11月7日)の担当をした。
また、児童図書室が、全国学校図書館協議会の学校図書館賞実践の部で「奨励賞」を受賞した。
- 本学が参画する一般社団法人「教育支援人材認証協会」の認定評価委員として事業の遂行に努力し、認証講座「こどもサポーター(読み聞かせ)」(10月6日・7日)を担当した。
- 文部科学省特別経費(プロジェクト分)「教員養成モデルカリキュラムの発展的研究」の計画・実施に積極的に協力した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- 国語科学部・附属連絡協議会を継続開催し、附属学校との研究協力活動を発展させる。
- 本学の大学教員派遣の一環として、附属中学校の授業を、附属教員と共同で担当する。
- 教員免許状更新講習(選択領域)の複数担当、公開講座の担当、県・大学連携による教員研修担当など、積極的に社会と連携する。
- 外国人留学生研修プログラム「日本の教育と文化」に係る講義を担当する。

2. 点検・評価

- 国語科学部・附属連絡協議会を継続開催し(6月28日)、附属学校との研究協力活動を発展させた。
- 本学の大学教員派遣の一環として、附属中学校の授業を、附属教員と共同で担当した(11月6日～27日)。
- 附属中学校が取り組んでいる研究「思考力・判断力・表現力を育む授業の創造」について、研究内容についてのアドバイスをを行った(1月29日)。
- 教員免許状更新講習(選択領域)の複数(7月28日、29日、8月16日・17日、18日・19日)担当した。県・大学連携による教員研修担当する(8月2日)など、積極的に社会と連携した。
- 外国人留学生研修プログラム「日本の教育と文化」に係る講義を担当した(7月3日)。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

教員免許状更新講習(選択領域)「絵本とその読み聞かせの教育的効果」(7月28日、29日)、「子どもの発達段階に応じる音読・朗読指導と絵本の読み聞かせ」(8月16日・17日/18日・19日)において、余郷個人で、のべ延390名を担当し、受講料234万円の外部資金獲得に貢献した。